



2017年度（平成30年3月期）
第1四半期決算

参考資料

2017年8月2日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<http://www.eisai.co.jp/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

製品の安全性および品質に関するリスク、副作用発現のリスク、訴訟に関するリスク、法規制に関するリスク、知的財産に関するリスク、新薬開発の不確実性に関するリスク、医療費抑制策に関するリスク、ジェネリック医薬品に関するリスク、海外展開におけるリスク、他社とのパートナーシップに関するリスク、企業買収や製品買収等に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、財務報告に係る内部統制の整備等に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止のリスク、環境に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2016年度 第1四半期	期中平均レート	108.14	122.01	155.10	16.52
	期末日レート	102.91	114.39	138.41	15.46
2016年度 通期	期中平均レート	108.38	118.78	141.59	16.10
	期末日レート	112.19	119.79	140.08	16.29
2017年度 第1四半期	期中平均レート	111.09	122.19	142.00	16.21
	期末日レート	112.00	127.97	145.79	16.49
2017年度	予想レート	113.00	120.00	141.00	16.30

- 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本(医療用医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品等)、アメリカス(北米、中南米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、オセアニア)、アジア(韓国、台湾、香港、インド、アセアン等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

	2016年度				2017年度				(億円、%)	
	1Q	売上比	通期	売上比	1Q	売上比	前同比	増減額	2017年度 通期予想	売上比
売上収益	1,369	100.0	5,391	100.0	1,419	100.0	103.6	49	5,755	100.0
売上原価	498	36.4	1,959	36.3	494	34.8	99.2	△ 4	2,060	35.8
売上総利益	871	63.6	3,432	63.7	925	65.2	106.1	53	3,695	64.2
販売費及び一般管理費	426	31.1	1,749	32.5	443	31.2	104.1	17	1,775	30.8
販売費	125	9.1	559	10.4	132	9.3	105.8	7	—	—
人件費	190	13.9	752	14.0	200	14.1	105.5	10	—	—
管理費他	111	8.1	439	8.1	110	7.8	99.8	△ 0	—	—
研究開発費	273	19.9	1,172	21.7	332	23.4	121.6	59	1,340	23.3
その他の収益	103	7.5	136	2.5	6	0.4	6.0	△ 97	20	0.3
その他の費用	17	1.3	56	1.0	4	0.3	25.8	△ 13	—	—
営業利益	258	18.9	591	11.0	151	10.7	58.6	△ 107	600	10.4
金融収益	7	0.5	18	0.3	7	0.5	104.2	0	—	—
金融費用	7	0.5	32	0.6	7	0.5	102.9	0	—	—
税引前四半期（当期）利益	258	18.8	577	10.7	151	10.7	58.6	△ 107	583	10.1
法人所得税	49	3.6	154	2.9	45	3.2	93.1	△ 3	—	—
四半期（当期）利益	209	15.3	422	7.8	106	7.5	50.6	△ 103	413	7.2
四半期（当期）利益の帰属										
親会社所有者	197	14.4	394	7.3	98	6.9	49.7	△ 99	398	6.9
非支配持分	12	0.9	29	0.5	8	0.5	65.6	△ 4	—	—

四半期（当期）包括利益	△230	△16.8	368	6.8	152	10.7	—	382
-------------	------	-------	-----	-----	-----	------	---	-----

EPS（円）	69.0	137.6	34.3	139.2
DPS（円）	—	150.0	—	150.0
ROE（%）	—	6.8	—	6.8
DOE（%）	—	7.4	—	7.4
海外売上収益比率（%）	43.2	45.2	44.3	

- ・ 通期予想には当社が2017年5月3日に発表した、米国における制吐剤「Aloxi」の特許侵害訴訟に関するリスクによる影響は含めていません。
- ・ 通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。
- ・ 当期より、経営の実態をより適切に表示するため、研究開発費の定義を明確化し、科学的エビデンスの創出ならびに医療従事者との共有などのメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費としています。これに伴い、前期の販売費及び一般管理費に含まれていた金額を研究開発費に組み替えています。
- ・ EPS：基本的1株当たり四半期（当期）利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分分配当率

<コメント>

■売上収益	・ ハラヴェン、レンピマ、ヒュミラ、フィコンパの拡大による増加 （日本医薬品事業の増収、中国、EMEAおよびアジア医薬品事業の二桁成長）
■研究開発費	・ βサイト切断酵素阻害剤「E2609」などのアルツハイマー病領域およびがん領域の開発テーマへの積極的な研究開発投資
■その他の収益	・ 前年同期は、子会社株式の取得に伴う一時収益（割安購入益）93億円を計上
■為替による影響額	・ 売上収益：+9.9億円、営業利益：+0.5億円
■為替感応度 （1円の円高に対しての年間影響額）	・ 売上収益：米ドル △10.4億円、ユーロ △2.6億円、英ポンド △0.4億円、人民元 △32.3億円 営業利益：米ドル +3.8億円、ユーロ △2.0億円、英ポンド+0.9億円、人民元 △14.4億円

2. セグメント情報

1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2016年度		2017年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	1,351	5,301	1,398	103.5	102.8
日本 医薬品事業	771	2,911	780	101.1	101.1
アメリカス 医薬品事業	292	1,172	288	98.8	96.2
米国	288	1,157	284	98.4	95.8
中国 医薬品事業	112	493	131	117.2	119.4
EMEA 医薬品事業	90	378	101	111.2	112.1
アジア 医薬品事業	86	347	99	115.3	108.8
その他事業	19	90	20	108.9	109.4
連結売上収益	1,369	5,391	1,419	103.6	102.9

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2016年度		2017年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	477	1,774	508	106.5	105.4
日本 医薬品事業	290	1,027	305	105.1	105.1
アメリカス 医薬品事業	86	369	98	113.8	110.8
中国 医薬品事業	36	138	40	109.3	112.4
EMEA 医薬品事業	38	146	36	93.3	87.7
アジア 医薬品事業	26	93	29	114.0	107.3
その他事業	4	21	6	157.7	170.8
研究開発費	△273	△1,172	△332	121.6	120.0
親会社の本社管理費等	△43	△126	△31	71.3	71.4
割安購入益	93	93	—	—	—
子会社株式売却益	1	1	—	—	—
連結営業利益	258	591	151	58.6	58.4

・当期より、経営の実態をより適切に表示するため、研究開発費の定義を明確化し、科学的エビデンスの創出ならびに医療従事者との共有などのメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費としています。これに伴い、前期の販売費及び一般管理費に含まれていた金額を研究開発費に組み替えています。

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2016年度		2017年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	771	2,911	780	101.1
医療用医薬品	653	2,440	652	99.9
ジェネリック医薬品	71	280	71	101.0
一般用医薬品等	47	190	56	118.3
セグメント利益	290	1,027	305	105.1
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	94	377	112	119.0
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	89	295	70	78.3
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	61	243	67	110.4
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	60	212	49	81.9
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	50	182	46	92.2
不眠症治療剤 ルネスタ	19	80	25	131.5
抗がん剤 ハラヴェン	20	78	23	117.4
成分栄養剤 エレンタール*	16	66	17	103.9
抗がん剤 トレアキシシ	11	42	17	160.4
経口抗凝固剤 ワーファリン	19	68	17	86.0
分岐鎖アミノ酸製剤 リーバクト*	19	67	16	85.3
抗がん剤 レンビマ	7	27	8	108.4
抗てんかん剤 フィコンパ	1	5	3	281.4
日本 一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	32	124	37	116.8

・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

* EAファーマの取り扱い製品です。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米、中南米)

(億円、%)

	2016年度		2017年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	292	1,172	288	98.8 <96.2>
米国	288	1,157	284	98.4 <95.8>
セグメント利益	86	369	98	113.8 <110.8>
アメリカス 主力品売上収益				
制吐剤 Aloxi	120	481	106	88.4
米国 (百万米ドル)	120 (111)	481 (444)	106 (95)	88.4 <86.0>
抗がん剤 レンピマ	32	151	49	152.4
米国 (百万米ドル)	32 (30)	150 (138)	48 (43)	151.0 <147.0>
抗がん剤 ハラヴェン	42	166	42	99.9
米国 (百万米ドル)	40 (37)	158 (146)	39 (35)	98.9 <96.3>
抗てんかん剤 Banzel	31	138	41	131.9
米国 (百万米ドル)	30 (28)	137 (126)	40 (36)	132.2 <128.7>
抗てんかん剤 Fycompa	12	53	16	132.3
米国 (百万米ドル)	11 (11)	50 (46)	15 (14)	132.3 <128.8>
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	18	72	16	85.2 <82.9>
米国 (百万米ドル)	18 (17)	72 (66)	16 (14)	
肥満症治療剤 Belvii	10	37	10	98.6 <96.0>
米国 (百万米ドル)	10 (9)	37 (34)	10 (9)	

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・アメリカスでは、米国のみがアシフェックス、Belviiの自社販売国になります。

3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2016年度		2017年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	112	493	131	117.2 <119.4>
セグメント利益	36	138	40	109.3 <112.4>
中国 主力品売上収益				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	40 (240)	180 (1,116)	49 (303)	124.1 <126.5>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠 (百万人民元)	21 (126)	84 (523)	22 (137)	107.1 <109.1>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	14 (84)	62 (383)	16 (101)	118.7 <121.0>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット (百万人民元)	9 (55)	39 (244)	13 (80)	142.7 <145.4>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、オセアニア)

(億円、%)

	2016年度		2017年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	90	378	101	111.2 <112.1>
セグメント利益	38	146	36	93.3 <87.7>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 ハラヴェン	27	109	28	103.1 <103.5>
抗がん剤 レンビマ／Kisplyx	4	33	13	292.9 <293.7>
抗てんかん剤 Fycompa	11	42	12	109.4 <110.0>
抗てんかん剤 ゾネグラン	15	52	11	72.2 <72.9>
抗てんかん剤 Zebinix	7	36	10	146.6 <147.8>
抗てんかん剤 イノベロン	5	19	5	114.6 <116.7>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) アジア 医薬品事業 (韓国、台湾、香港、インド、アセアン等)

(億円、%)

	2016年度		2017年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	86	347	99	115.3 <108.8>
セグメント利益	26	93	29	114.0 <107.3>
アジア 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	24	96	29	120.0 <111.5>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	24	98	27	113.6 <107.0>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	9	36	10	111.5 <106.3>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	7	29	7	103.2 <98.3>
抗がん剤 ハラヴェン	5	20	4	81.5 <76.6>
抗がん剤 レンビマ	0	3	3	1580.8 <1550.7>
抗てんかん剤 Fycompa	1	4	1	203.0 <190.4>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4. 主力品売上収益

1) ニューロロジ領域製品

(億円、%)

	2016年度		2017年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
ニューロロジ領域製品計	406	1,619	428	105.4 <104.8>
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	132	492	118	89.2 <88.2>
日本	89	295	70	78.3
中国	14	62	16	118.7 <121.0>
アジア	24	98	27	113.6 <107.0>
メチコパール (末梢性神経障害治療剤)	98	400	104	106.5 <107.1>
日本	50	182	46	92.2
中国	40	180	49	124.1 <126.5>
アジア	7	29	7	103.2 <98.3>
リリカ (疼痛治療剤) ・日本	61	243	67	110.4
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	37	162	47	128.9 <126.2>
アメリカス	31	138	41	131.9 <128.5>
EMEA	5	19	5	114.6 <116.7>
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	25	103	32	131.1 <129.5>
日本	1	5	3	281.4
アメリカス	12	53	16	132.3 <129.1>
EMEA	11	42	12	109.4 <110.0>
アジア	1	4	1	203.0 <190.4>
ルネスタ (不眠症治療剤) ・日本	19	80	25	131.5
ソネグラン (抗てんかん剤)	16	56	12	75.6 <75.7>
EMEA	15	52	11	72.2 <72.9>
Zebinix (抗てんかん剤) ・EMEA	7	36	10	146.6 <147.8>
Belvia (肥満症治療剤) ・米国	10	37	10	98.6 <96.0>
その他	3	10	3	100.8 <100.8>

- ・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本とフィリピンのみです。
- ・リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2016年度		2017年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
オンコロジー領域製品計	285	1,183	311	109.1 <107.3>
Aloxi (制吐剤)・アメリカス	120	481	106	88.4 <86.0>
ハラヴェン (抗がん剤)	94	373	97	103.6 <102.2>
日本	20	78	23	117.4
アメリカス	42	166	42	99.9 <97.1>
EMEA	27	109	28	103.1 <103.5>
アジア	5	20	4	81.5 <76.6>
レンピマ/Kisplyx (抗がん剤)	44	215	73	165.9 <162.9>
日本	7	27	8	108.4
アメリカス	32	151	49	152.4 <148.3>
EMEA	4	33	13	292.9 <293.7>
アジア	0	3	3	1580.8 <1550.7>
トレアキシシン/シンベンダ (抗がん剤)	11	45	18	155.9 <155.7>
その他	16	70	17	109.2 <109.5>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し（2017年度）

（億円、%）

	2016年度		2017年度	
	1Q	通期	1Q	通期予想
日本	771	2,911	780	2,930
医療用医薬品	653	2,440	652	2,430
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	94	377	112	435
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	89	295	70	220
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	60	212	49	185
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	50	182	46	170
不眠症治療剤 ルネスタ	19	80	25	105
抗がん剤 ハラヴェン	20	78	23	85
成分栄養剤 エレンタール*	16	66	17	65
抗がん剤 トレアキシシ	11	42	17	65
経口抗凝固剤 ワーファリン	19	68	17	60
分岐鎖アミノ酸製剤 リーバクト*	19	67	16	60
ジェネリック医薬品	71	280	71	300
一般用医薬品等	47	190	56	195
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	32	124	37	125
アメリカス	292	1,172	288	1,320
米国	288	1,157	284	1,300
中国	112	493	131	540
EMEA	90	378	101	445
アジア	86	347	99	380
その他	19	90	20	140
連結売上収益	1,369	5,391	1,419	5,755
主要品目グローバル売上収益				
ハラヴェン	94	373	97	430
日本	20	78	23	85
アメリカス	42	166	42	185
EMEA	27	109	28	135
アジア	5	20	4	25
レンピマ/Kispalyx	44	215	73	330
日本	7	27	8	30
アメリカス	32	151	49	235
EMEA	4	33	13	60
アジア	0	3	3	5
フィコンパ/Fycompa	25	103	32	205
日本	1	5	3	40
アメリカス	12	53	16	95
EMEA	11	42	12	65
アジア	1	4	1	5
Belvia	10	37	10	50
アメリカス	10	37	10	50
アリセプト	132	492	118	415
パリエット/アシフェックス	97	364	88	320

- ・通期予想には当社が2017年5月3日に発表した、米国における制吐剤「Aloxi」の特許侵害訴訟に関するリスクによる影響は含めていません。
- ・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。
- * EAファーマの取り扱い製品です。

6. 連結包括利益計算書

	2016年度		2017年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	増減額
四半期（当期）利益	209	422	106	50.6	△ 103
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△ 22	△ 6	21	—	43
確定給付制度に係る再測定	—	40	—	—	—
小計	△ 22	34	21	—	43
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	△ 414	△ 93	25	—	439
キャッシュ・フロー・ハッジ	△ 3	5	0	—	3
小計	△ 417	△ 88	26	—	442
その他の包括利益合計	△ 439	△ 54	46	—	486
四半期（当期）包括利益	△ 230	368	152	—	382
四半期（当期）包括利益の帰属					
親会社所有者	△ 241	340	145	—	386
非支配持分	12	29	8	66.4	△ 4

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2016年度	2017年度	
	1Q	1Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	258	151	△ 107
減価償却費及び償却費	80	64	△ 15
運転資本の増減額（△は増加）	△ 239	△ 180	59
利息及び配当金の受取額	7	7	0
利息の支払額	△ 7	△ 7	△ 0
法人所得税の支払額	△ 52	△ 50	2
法人所得税の還付額	3	2	△ 2
その他	△ 98	△ 25	74
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 48	△ 37	11
投資活動によるキャッシュ・フロー			
① 有形固定資産の取得による支出	△ 14	△ 34	△ 20
② 有形固定資産の売却による収入	2	0	△ 2
③ 無形資産の取得による支出	△ 12	△ 62	△ 50
④ 子会社の取得による収入	193	—	△ 193
⑤ 子会社の売却による収入	65	—	△ 65
<資本的支出等（キャッシュベース）> ①+②+③+④+⑤	234	△ 96	△ 330
金融資産の取得による支出	△ 27	△ 36	△ 10
金融資産の売却・償還による収入	24	32	7
3カ月超預金の預入による支出	△ 18	△ 13	4
3カ月超預金の払戻による収入	19	9	△ 10
その他	1	0	△ 0
投資活動によるキャッシュ・フロー	234	△ 104	△ 338
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	—	114	114
長期借入れによる収入	100	—	△ 100
配当金の支払額	△ 229	△ 229	△ 0
その他	△ 18	△ 1	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 147	△ 117	31
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 104	12	116
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 66	△ 246	△ 180
現金及び現金同等物の期首残高	1,793	1,868	74
現金及び現金同等物の期末残高	1,727	1,622	△ 106

フリー・キャッシュ・フロー	187	△ 133	△ 319
---------------	-----	-------	-------

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

<コメント>

- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - ・ 前年同期に子会社の取得による収入、子会社の売却による収入が発生
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - ・ 短期借入れによる収入が発生

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2016年度		2017年度		
	1Q	通期	1Q	増減額	通期予想
資本的支出額（キャッシュベース）	26	200	96	70	220
有形固定資産	14	78	34	20	120
無形資産	12	122	62	50	100
減価償却費及び償却費	80	265	64	△ 15	260
有形固定資産	29	110	27	△ 1	110
無形資産	51	155	37	△ 14	150

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2016年度		6月末	2017年度		増減額
	3月末	構成比		構成比	前期末比	
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,036	10.0	1,038	10.2	100.3	3
のれん	1,740	16.9	1,737	17.0	99.9	△ 3
無形資産	1,125	10.9	1,133	11.1	100.7	8
その他の金融資産	545	5.3	569	5.6	104.4	24
その他	138	1.3	144	1.4	104.7	6
繰延税金資産	883	8.6	859	8.4	97.2	△ 24
非流動資産合計	5,466	53.0	5,480	53.7	100.3	14
流動資産						
棚卸資産	829	8.0	844	8.3	101.9	16
営業債権及びその他の債権	1,545	15.0	1,637	16.0	106.0	92
その他の金融資産	429	4.2	442	4.3	103.2	14
その他	171	1.7	178	1.7	104.0	7
現金及び現金同等物	1,868	18.1	1,622	15.9	86.8	△ 246
流動資産合計	4,842	47.0	4,724	46.3	97.6	△ 118
資産合計	10,308	100.0	10,204	100.0	99.0	△ 103

<コメント>

- 資産の部
・配当金の支払いや販売権の取得に伴う現金及び現金同等物の減少

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2016年度		2017年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.4	450	4.4	100.0	—
資本剰余金	777	7.5	775	7.6	99.8	△ 1
自己株式	△ 359	△ 3.5	△ 358	△ 3.5	99.8	1
利益剰余金	3,950	38.3	3,841	37.6	97.3	△ 108
その他の資本の構成要素	1,029	10.0	1,055	10.3	102.5	26
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,846	56.7	5,763	56.5	98.6	△ 83
非支配持分	180	1.7	187	1.8	104.2	8
資本合計	6,026	58.5	5,950	58.3	98.7	△ 76
負債						
非流動負債						
借入金	1,635	15.9	1,634	16.0	100.0	△ 0
その他の金融負債	25	0.2	27	0.3	108.5	2
退職後給付に係る負債	138	1.3	135	1.3	97.8	△ 3
引当金	12	0.1	12	0.1	101.3	0
その他	230	2.2	216	2.1	93.6	△ 15
繰延税金負債	4	0.0	4	0.0	85.0	△ 1
非流動負債合計	2,045	19.8	2,028	19.9	99.2	△ 17
流動負債						
借入金	500	4.9	614	6.0	122.8	114
営業債務及びその他の債務	707	6.9	556	5.4	78.6	△ 151
その他の金融負債	40	0.4	49	0.5	122.1	9
未払法人所得税	59	0.6	44	0.4	74.1	△ 15
引当金	146	1.4	166	1.6	113.4	20
その他	784	7.6	798	7.8	101.7	14
流動負債合計	2,237	21.7	2,226	21.8	99.5	△ 11
負債合計	4,282	41.5	4,254	41.7	99.4	△ 27
資本及び負債合計	10,308	100.0	10,204	100.0	99.0	△ 103

<コメント>

■資本の部

- ・配当金の支払い等に伴う利益剰余金の減少

■負債の部

- ・経費の支払い等に伴う営業債務及びその他の債務の減少
- ・短期借入金の増加

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2016年度				2017年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	1,369	1,330	1,393	1,299	1,419
売上原価	498	484	497	480	494
売上総利益	871	846	897	818	925
販売費及び一般管理費	426	423	447	454	443
研究開発費	273	298	258	343	332
その他の収益	103	8	12	12	6
その他の費用	17	6	14	19	4
営業利益	258	128	190	14	151
金融収益	7	2	6	3	7
金融費用	7	7	7	11	7
税引前四半期利益	258	123	189	6	151
法人所得税	49	36	76	△7	45
四半期利益	209	87	114	13	106
四半期利益の帰属					
親会社所有者	197	82	105	9	98
非支配持分	12	5	8	4	8
四半期包括利益	△230	20	667	△89	152
E P S (円)	69.0	28.6	36.7	3.3	34.3

・当期より、経営の実態をより適切に表示するため、研究開発費の定義を明確化し、科学的エビデンスの創出ならびに医療従事者との共有などのメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費としています。これに伴い、前期の販売費及び一般管理費に含まれていた金額を研究開発費に組み替えています。

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2016年度				2017年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48	316	158	333	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	234	△103	△245	△171	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△147	△1	△207	1	△117
現金及び現金同等物の期末残高	1,727	1,908	1,724	1,868	1,622
フリー・キャッシュ・フロー	187	286	121	226	△133

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2016年度				2017年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
資本的支出額（キャッシュベース）	26	30	37	107	96
有形固定資産	14	11	16	37	34
無形資産	12	19	21	70	62
減価償却費及び償却費	80	59	61	65	64
有形固定資産	29	27	27	28	27
無形資産	51	32	35	37	37

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2016年度				2017年度
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
資産	9,631	9,652	10,404	10,308	10,204
資本	5,627	5,649	6,111	6,026	5,950
親会社の所有者に帰属する持分	5,459	5,477	5,935	5,846	5,763
負債	4,004	4,003	4,293	4,282	4,254
借入金	2,107	2,101	2,148	2,135	2,248
親会社所有者帰属持分比率 (%)	56.7	56.7	57.0	56.7	56.5
負債比率 (Net DER/倍)	0.04	△0.01	△0.01	△0.05	0.01

・負債比率 (Net DER) = (有利子負債 (社債及び借入金) - 現金及び現金同等物 - 3カ月超預金等) ÷ 親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2016年度				2017年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ニューロロジー領域製品計	406	394	423	396	428
アリセプト（アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤）	132	119	122	119	118
日本	89	75	77	54	70
中国	14	15	16	17	16
アジア	24	24	25	25	27
メチコバル（末梢性神経障害治療剤）	98	103	108	90	104
日本	50	46	48	38	46
中国	40	48	50	42	49
アジア	7	7	8	7	7
リリカ（疼痛治療剤）・日本	61	58	65	59	67
イノベロン/Banzel（抗てんかん剤）	37	38	41	46	47
アメリカス	31	33	35	40	41
EMEA	5	5	5	5	5
フィコンパ/Fycompa（抗てんかん剤）	25	23	27	29	32
日本	1	1	1	1	3
アメリカス	12	11	14	16	16
EMEA	11	10	10	11	12
アジア	1	1	1	1	1
ルネスタ（不眠症治療剤）・日本	19	19	23	20	25
ゾネグラン（抗てんかん剤）	16	14	13	13	12
EMEA	15	13	12	12	11
Zebinix（抗てんかん剤）・EMEA	7	10	9	10	10
Belvia（肥満症治療剤）・米国	10	7	11	9	10
その他	3	3	3	2	3

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本とフィリピンのみです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2016年度				2017年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
オンコロジー領域製品計	285	294	295	309	311
Aloxi（制吐剤）・アメリカス	120	121	114	126	106
ハラヴェン（抗がん剤）	94	93	97	90	97
日本	20	20	20	18	23
アメリカス	42	41	42	41	42
EMEA	27	26	31	25	28
アジア	5	5	5	5	4
レンビマ/Kisplyx（抗がん剤）	44	52	55	64	73
日本	7	7	7	6	8
アメリカス	32	37	38	44	49
EMEA	4	8	9	12	13
アジア	0	1	1	1	3
トリアキシシ/シンベンダ（抗がん剤）	11	11	11	12	18
その他	16	18	18	18	17

11. 主要開発品

<自社開発品一覧>

品目／開発コード	効能追加等**	開発ステージ***	領域
承認取得品			
◎ フィコンバ（部分てんかん単剤療法）	効能	（米）承認	神経
申請中・申請準備中開発品			
アリセプト（高度アルツハイマー型認知症）	効能	（中）申請	神経
AJG511（潰瘍性大腸炎）*		（日）申請	消化器
パリエット（PPI 抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法）	用法	（日）申請	消化器
AJG533（慢性便秘症）*		（日）申請	消化器
◎ レンビマ（肝細胞がん）	効能	（日米欧）申請（中ア）申請準備中	がん
◎ ハラヴェン（乳がん）		（中）再申請準備中	がん
臨床試験中開発品			
E2006（不眠障害）		（日米欧）PⅢ	神経
E2609（早期アルツハイマー病）		（日米欧）PⅢ	神経
レンビマ（甲状腺がん）		（中）PⅢ	がん
AJM300（潰瘍性大腸炎）*		（日）PⅢ	消化器
AJG555（慢性便秘症）*		（日）PⅢ	消化器
リーバクト（低アルブミン血症）		（中）PⅢ	消化器
フィコンバ（レノックス・ガスター症候群）	効能	（日米欧）PⅢ	神経
フィコンバ（てんかん小児適応）	効能	（日米欧）PⅢ	神経
◎ フィコンバ（部分てんかん単剤療法）	効能	（日）PⅢ	神経
レンビマ（腎細胞がん・ファーストライン）	効能	（米欧）PⅢ	がん
ME2125（パーキンソン病）		（日）PⅡ/Ⅲ	神経
BAN2401（アルツハイマー型認知症）		（日米欧）PⅡ	神経
E2006（アルツハイマー型認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害）		（日米）PⅡ	神経
MORAb-003（プラチナ感受性卵巣がん）		（日米欧）PⅡ	がん
MORAb-004（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん
MORAb-009（中皮腫）		（米欧）PⅡ	がん
E7777（末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫）		（日）PⅡ	がん
ハラヴェン（乳がん・抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ	がん
レンビマ（固形がん・抗PD-1抗体ベムプロリスマブとの併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ（日）PⅠ	がん
E6007（潰瘍性大腸炎）*		（日）PⅡ	消化器
E6011（関節リウマチ）		（日）PⅡ	その他
E6011（原発性胆汁性胆管炎）*		（日）PⅡ	その他
アリセプト（ダウン症候群の退行様症状）	効能	（日）PⅡ	神経
ハラヴェン（膀胱がん）	効能	（米欧）PⅠ/Ⅱ	がん
レンビマ（非小細胞肺癌がん RET 転座）	効能	（日米欧ア）PⅡ	がん
レンビマ（胆道がん）	効能	（日）PⅡ	がん
ハラヴェン（乳がん・PEGPH20との併用療法）		（米）PⅠ/Ⅱ	がん
E6011（クローン病）*		（日）PⅠ/Ⅱ	その他
Belvia（肥満症）		（日）PⅠ	神経
E2027（アルツハイマー型認知症）		（米）PⅠ	神経
E2730（てんかん）		（米）PⅠ	神経
E7090（固形がん）		（日）PⅠ	がん
MORAb-066（固形がん）		（米）PⅠ	がん
E7046（固形がん）		（米欧）PⅠ	がん
H3B-6527（肝細胞がん）		（米）PⅠ	がん
H3B-8800（血液がん）		（米欧）PⅠ	がん
E7438（B細胞性非ホジキンリンパ腫）		（日）PⅠ	がん
◎ E7386（固形がん）		（欧）PⅠ	がん
E6130（炎症性腸疾患）*		（日）PⅠ	消化器
MORAb-022（関節リウマチ）		（米）PⅠ	その他
E6071（自己免疫疾患）		（欧）PⅠ	その他
◎ E6742（自己免疫疾患）		（米）PⅠ	その他
レンビマ（腎細胞がん・セカンドライン）	効能	（日）PⅠ	がん
ハラヴェン（リボソーム製剤）	剤形	（日欧）PⅠ	がん

* EA ファーマ開発品、** 効能：効能効果追加、剤形：剤形追加、用法：用法用量追加

*** 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

・ME2125 について、新たに本表に加えしました。

◎：2017年4月以降の進捗

(1) 神経

開発品コード：E2020 一般名：ドネペジル 製品名：アリセプト

薬効/作用機序：アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤			自社品
[概要] 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症（AD）の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、世界100カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。日本とフィリピンにおいてはレビー小体型認知症の適応も取得しています。			
高度アルツハイマー型認知症（効能追加）	339試験	中国 申請（2015年2月）	経口剤
ダウン症候群の退行様症状（効能追加）	345試験	日本 PII	経口剤

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル 製品名：フィコンパ/Fycompa

薬効/作用機序：抗てんかん剤/AMPA受容体拮抗剤			自社品
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、米国、欧州、アジアなど、55カ国以上で承認を取得しています。また、全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、米国、欧州、アジアなど45カ国以上で承認を取得しています。米国では、経口懸濁液の承認を取得し、販売しています。			
部分てんかん単剤療法（効能追加）	342試験	◎ 米国 承認（2017年7月） ◎ 日本 PIII	経口剤
レノックス・ガストー症候群（効能追加）	338試験	日米欧 PIII	経口剤
てんかん小児適応（効能追加）	311試験	日米欧 PIII	経口剤

開発品コード：E2006 一般名：lemborexant

薬効/作用機序：オレキシン受容体拮抗剤			自社品
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発・維持を期待しています。			
不眠障害	303/304試験	日米欧 PIII	Purdue Pharmaと共同開発 経口剤
アルツハイマー型認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害	202試験	日米 PII	Purdue Pharmaと共同開発 経口剤

開発品コード：E2609

薬効/作用機序：アルツハイマー病治療剤/ β サイト切断酵素（BACE）阻害剤			自社品
[概要] アミロイド前駆体タンパク質の β サイト切断酵素であるBACEを阻害することで、ベータアミロイドの総量を低下させ、アルツハイマー病の進行を抑制することを期待しています。			
早期アルツハイマー病	301/302試験 (MISSION AD1/2)	日米欧 PIII	Biogen Inc.と共同開発 経口剤

開発品コード：BAN2401

薬効/作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤/抗A β プロトフィブリルモノクローナル抗体			導入品（バイオアークティック ニューロサイエンス）
[概要] ベータアミロイド（A β ）プロトフィブリルに対するIgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているA β プロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。			
アルツハイマー型認知症	201試験	日米欧 PII	Biogen Inc.と共同開発 注射剤

開発品コード：ME2125 一般名：safinamide

薬効/作用機序：パーキンソン病治療剤/モノアミン酸化酵素B阻害剤			導入品（Meiji Seikaファルマ）
[概要] 選択的なモノアミン酸化酵素B（MAO-B）阻害作用により、分泌されたドパミンの分解を抑制してドパミンの脳内濃度維持を助けます。また、ナトリウムイオンチャネル阻害作用やグルタミン酸放出抑制作用を有することから、ドパミン作動性作用と非ドパミン作動性作用を併せ持つ、新たなパーキンソン病治療薬となることを期待しています。			
パーキンソン病		日本 PII/III	経口剤

・ME2125について、新たに本リストに加えしました。

◎：2017年4月以降の進捗

開発品コード：APD356 一般名：lorcaserin 製品名：Belvia

薬効／作用機序：肥満症治療剤／セロトニン2C受容体作動剤	導入品 (Arena Pharmaceuticals)
<p>[概要] 新規作用機序の肥満症治療剤です。選択的に脳内のセロトニン2C受容体を刺激することにより摂食を抑制し、満腹感を促進すると考えられています。本剤は、米国において、Body Mass Index (BMI) が30kg/m²以上、あるいは少なくとも1つ以上の体重に関連する合併症を有するBMIが27kg/m²以上の成人患者様の体重管理を目的とした食事療法と運動療法に対する補助療法として、2012年6月に米国食品医薬品局 (FDA) より承認され、米国麻薬取締局によるスケジューリング指定を経て、2013年6月に発売されました。2016年7月にメキシコ、2016年12月にブラジルにおいて、それぞれ承認を取得しました。また、米国では1日1回製剤の承認を取得し、販売しています。</p>	
肥満症	日本 PI 経口剤

開発品コード：E2027

アルツハイマー型認知症	米国 PI	自社品	経口剤
-------------	-------	-----	-----

開発品コード：E2730

てんかん	米国 PI	自社品	経口剤
------	-------	-----	-----

(2) がん

開発品コード：E7389 一般名：エリブリン 製品名：ハラヴェン

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤			自社品
[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類似体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、アジアなど、60カ国以上で乳がんに係る承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなど、40カ国以上において悪性軟部腫瘍に係る適応追加の承認を取得しています。			
◎ 乳がん	304試験	中国	再申請準備中 注射剤
膀胱がん（効能追加）	702試験	米欧	PI/II 注射剤
トリプルネガティブ乳がん （抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法）	218試験	米国	PI/II Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.と共同開発 注射剤
HER2陰性乳がん（PEGPH20との併用療法）	219試験	米国	PI/II Halozymeと共同開発 注射剤
リボソーム製剤（剤形追加）	—	日欧	PI 注射剤

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ 製品名：レンピマ/Kisplyx

薬効／作用機序：抗がん剤／分子標的治療薬			自社品
[概要] 血管内皮増殖因子受容体(VEGFR)や線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)に加え、血小板由来増殖因子受容体(PDGFR)、KIT、RETなどの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼ(RTK)に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な、自社創出の新規結合型チロシンキナーゼ阻害剤です。本剤は、VEGFR2とのX線共結晶構造解析から、新たな結合様式(タイプV)を有することが確認された薬剤であり、速度論的解析からは、標的分子に素早く結合し強力なキナーゼ阻害作用を示すことが確認されています。甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなど50カ国以上で承認を取得しています。また腎細胞がん(セカンドライン)に係る適応で、米国、欧州など35カ国以上で承認を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応については、製品名Kisplyxを使用しています。			
甲状腺がん	308試験	中国	P III 経口剤
腎細胞がん・ファーストライン（効能追加）	307試験	米欧	P III 経口剤
肝細胞がん（効能追加）	304試験	◎ 日本 申請（2017年6月） ◎ 米欧 申請（2017年7月） 中ア 申請準備中	経口剤
非小細胞肺がん（RET転座）（効能追加）	209試験	日米欧ア	P II 経口剤
胆道がん（効能追加）	215試験	日本	P II 経口剤
固形がん（子宮内膜がん、腎細胞がん、頭頸部がん、 尿路上皮がん、非小細胞肺がん、メラノーマ）	111試験	米国	PI/II Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.と共同開発 経口剤/注射剤
固形がん（肝細胞がん、子宮内膜がんなど） （抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法）	—	日本	PI 注射剤
腎細胞がん・セカンドライン（効能追加）	—	日本	PI 経口剤

開発品コード：MORAb-003 一般名：ファルレッツマブ

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗葉酸受容体αモノクローナル抗体			自社品
[概要] 葉酸受容体α(FRA)に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
ブラチナ感受性卵巣がん	011試験	日米欧	P II 注射剤

開発品コード：MORAb-004

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体			自社品
[概要] Tumor endothelial marker 1(TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
メラノーマ	201試験	米欧	P II 注射剤

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab

薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体		自社品
[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。		
中皮腫	003/201試験 米欧 P II	注射剤

開発品コード：E7777

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤		自社品
[概要] インターロイキン2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2 受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。		
末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫	205試験 日本 P II	注射剤

開発品コード：E7090

固形がん	日本 P I	自社品	経口剤
------	--------	-----	-----

開発品コード：MORAb-066

固形がん	米国 P I	導入品 (Janssen Biotech)	注射剤
------	--------	-----------------------	-----

開発品コード：E7046

固形がん	米欧 P I	自社品	経口剤
------	--------	-----	-----

開発品コード：H3B-6527

肝細胞がん	米国 P I	自社品	経口剤
-------	--------	-----	-----

開発品コード：H3B-8800

血液がん	米欧 P I	自社品	経口剤
------	--------	-----	-----

開発品コード：E7438

B細胞性非ホジキンリンパ腫	日本 P I	導入品 (Epizyme, Inc)	経口剤
---------------	--------	--------------------	-----

開発品コード：E7386

◎ 固形がん	欧州 P I	共同創出品 (PRISM Pharma)	経口剤
--------	--------	----------------------	-----

(3) 消化器

開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール 製品名：パリエット/アシフェックス

薬効/作用機序：プロトンポンプ阻害剤	自社品
[概要] プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌、ラベプラゾールを含むヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用バック製剤などの承認を取得しています。2014年12月に低用量アスピリン投与時における胃潰瘍または十二指腸潰瘍の再発抑制に関する効能・効果および5mg錠の剤形追加の承認を取得しました。	
PPI抵抗性逆流性食道炎の維持療法における 1回10mgの1日2回投与（用法・用量追加）	311試験 日本 申請（2016年10月） EAファーマと共同開発 経口剤

開発品コード：AJG511 一般名：ブテソニド

薬効/作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤/局所作用型ステロイド	導入品（Dr. Falk Pharma）
[概要] 日本初のブテソニドを有効成分とする泡状の注腸製剤（注腸フォーム製剤）です。ブテソニドは局所作用型ステロイドであるため全身性の副作用の低減が期待でき、さらに、泡状であることから直腸およびS状結腸の炎症部位に薬剤が到達し、投与後にも漏れ出しにくい特徴があります。ブテソニド注腸フォーム剤は、欧州においては既に発売されています。	
潰瘍性大腸炎	CT1試験 日本 申請（2016年10月） EAファーマとキッセイ薬品の共同開発 注腸剤

開発品コード：AJG533 一般名：エロビキシバット

薬効/作用機序：慢性便秘症治療剤/胆汁酸トランスポーター阻害剤	導入品（Albireo）
[概要] 新規作用機序をもつ経口便秘薬です。胆汁酸の再吸収に係わる胆汁酸トランスポーターを阻害し、腸管内の胆汁酸を増加させて自然な排便を促します。	
慢性便秘症	CT1試験 日本 申請（2017年2月） EAファーマと持田製薬の共同開発 経口剤

開発品コード：AJM300 一般名：カロテグラストメチル

薬効/作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤/ α 4インテグリン阻害剤	自社品
[概要] α 4インテグリンを阻害することにより、リンパ球の接着・浸潤を防ぐ新規作用機序を有します。経口 α 4インテグリン阻害剤として世界ではじめての製品化をめざしています。	
潰瘍性大腸炎	日本 PIII EAファーマとキッセイ薬品の共同開発 経口剤

開発品コード：AJG555

薬効/作用機序：慢性便秘症治療剤/ポリエチレングリコール製剤	導入品（Norgine）
[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。	
慢性便秘症	CT1/CT2試験 日本 PIII EAファーマが開発 経口剤

一般名：イソロイシン・ロイシン・バリン顆粒 製品名：リーバクト配合顆粒

薬効/作用機序：分岐鎖アミノ酸製剤	自社品
[概要] 味の素が開発した分岐鎖アミノ酸製剤であり、非代償性肝硬変における血清アルブミン値を改善する薬剤です。日本では「食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する非代償性肝硬変患者の低アルブミン血症の改善」を効能・効果とし、EAファーマより販売されています。	
低アルブミン血症	中国 PIII 2017年度申請予定 EAファーマと共同開発 経口剤

開発品コード：E6007

薬効/作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤/インテグリン活性化阻害剤	自社品
[概要] インテグリン活性化阻害による白血球全般の接着・浸潤を抑制する新規作用機序を有する化合物です。科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業として筑波大学と共同で開発を進めています。	
潰瘍性大腸炎	201試験 日本 PII EAファーマが開発 経口剤

開発品コード：E6130

炎症性腸疾患	日本 PI 自社品（EAファーマが開発） 経口剤
--------	--------------------------------

(4) その他

開発品コード：E6011

薬効／作用機序：抗フラクタルカイン抗体				自社品	
[概要] エーザイグループのカン研究所において創製された、世界初のヒト化抗フラクタルカインモノクローナル抗体です。関節リウマチや炎症性腸疾患をはじめとする炎症性疾患の血管内皮細胞に発現し、炎症反応を惹起するフラクタルカインを中和することによる抗炎症作用を期待しています。					
関節リウマチ	201/202試験	日本	P II		注射剤
原発性胆汁性胆管炎	ET1試験	日本	P II	EAファーマが開発	注射剤
クローン病	101試験	日本	P I / II	EAファーマが開発	注射剤

開発品コード：MORAb-022

関節リウマチ（抗体）	米国	P I	自社品	注射剤
------------	----	-----	-----	-----

開発品コード：E6071（GSK3050002）

自己免疫疾患（抗体）	欧州	P I	自社品（グラクソスミスクラインと共同開発）	注射剤
------------	----	-----	-----------------------	-----

開発品コード：E6742

◎ 自己免疫疾患	米国	P I	自社品	経口剤
----------	----	-----	-----	-----